

大眼 目

を屠殺しつゝあるかをかくすために、上皮に冠せて全國民を欺くのが奴等の國家主義だ。奴等は國家主義の泥棒だ。純乎として正當に日本國を思ひ、日本國民を眞に愛ふるならば、俺等の前に土下坐をして潔くあやまるべきだ。

露西亞の鬼共が國家主義を泥棒してゐる間、クロボトキンも無政府主義の張本だつた。而も革命成つて歸國したとき彼は自分を迎ふる無政府黨の學生團に何と云つた、發聲一番私は純正國家主義者なりといふ大宣言をしたではないか。獨逸との戦争に於て、獨探を働いてゐた陸軍大官や、宮内大官共の國家主義が本物か、クロボトキンの純正國家主義が本物か、眉に唾氣をつけて考へて見る。日本が若し露西亞ほど腐れてゐたら、俺等だつて無政府黨の親玉と出かける。だが俺等日本人は援助のやうな國民の人割まで、イロハも書けないやうな低級な國民ぢやない。一見して膺造貨幣は分る。國家主義の旗印を泥棒してゐる奴等にゴマ化されてたまるかい。氣を付ける！ 馬鹿にするない！ 俺等は労働者だからつて國家の干城様だぞ！ 大元帥様は俺等の大親分様だぞ、憚り乍ら國家主義の御旗本はこちとらだ。レツテルの青瓢箪がピラピラブランした時は時代が違ふ、俺等の腕には血が通つてゐんだ。一寸切られても天井まで飛ぶてな血だ、温かい血だ

(20)

(21)